

大会名称: 第73回国民体育大会 バスケットボール競技会
(福井しあわせ元気国体2018 バスケットボール競技会)

開催場所: 福井市体育館 Gコート

試合区分: No. 5 成年女子 準々決勝

期 日: 2018(H30)年10月2日(火)

開始時間: 10:00

終了時間: 11:30

主審: 小島 慶子(香川)

副審: 久保 まり(新潟)



福岡 (九州)	○ 86	25 — 7 21 — 13 20 — 15 20 — 12 — — —	● 47	北海道 (北海道)
-------------------	----------------	--	----------------	---------------------

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4	*	坂口 千晶	7	0	3	1	1	0	3
5		栗原 颯生	0	0	0	0	2	0	1
6	*	藤 紗織	5	0	1	3	2	3	2
7		瀬崎 理奈	0	0	0	0	0	1	1
8	*	清本 優菜	9	0	3	3	0	2	2
9		喜多 伊綾	12	4	0	0	0	1	1
10		山内 葉月	16	1	6	1	0	1	1
11		溝口 早希	2	0	1	0	0	1	0
12	*	江口 詩織	8	0	4	0	0	1	0
13		中野 由希	8	0	1	6	2	2	3
14	*	金本 望	13	0	6	1	1	4	0
15		和田 実凡	6	0	3	0	0	1	0
HC		案浦 知仁 / TEAM							
		合計	86	5	28	15	8	17	14

No.	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F	RB	AS
4		大槻 奈々佳	0	0	0	0	2	0	0
5	*	雲崎 菜々華	0	0	0	0	2	3	0
6	*	伊丹 香菜子	5	1	1	0	1	2	0
7	*	荒澤 恵美菜	13	3	2	0	0	1	0
8		佐藤 友波	0	0	0	0	1	0	0
9		星川 紅葉	0	0	0	0	2	2	1
10		ドウセット メリナ	2	0	1	0	2	3	0
11		米島 沙弥華	0	0	0	0	1	1	1
12	*	川崎 未鈴	12	1	4	1	2	0	3
13		生野 瑞涼	2	0	1	0	0	0	0
14		西尾 菜々子	0	0	0	0	0	0	0
15	*	工藤 夢花	13	1	5	0	0	0	0
HC		宮腰 裕一 / TEAM							
		合計	47	6	14	1	13	12	5

S: スターター PTS: ポイント 3P: 3ポイントシュート 2P: 2ポイントシュート FT: フリースロー F: ファウル RB: リバウンド AS: アシスト

第1ピリオド、両チームマンツーマンディフェンスでスタート。福岡は#14にボールを集める。福岡は激しいディフェンスからの速攻で得点し、0-8で北海道はタイムアウト。その後福岡は激しいディフェンスからの速攻とドライブからのあわせで得点を重ね25-7で終了。
 第2ピリオドも、流れは変わらず福岡の激しいディフェンスからのトランジションの早い展開に北海道がついていけず、差が縮まらない。福岡の#9の3点シュートとセンターを使ったコンビネーションで福岡が得点を重ねる。北海道は#15のミドルシュートや#12のドライブで応戦するが、シュートを決めきれず、46-20で終了。
 第3ピリオド、両チームとも激しいディフェンスで応戦。福岡はリバウンドを制し、#16の連続シュートや#4#14のコンビネーションで得点。北海道は#7の3点シュートやドライブイン、その後の1-2-2のゾーンプレスを行うが、福岡は落ち着いたボールコントロールで対応する。福岡のディフェンスのカバーが早く、北海道はなかなかシュートを打たせてもらえない。逆に福岡の速攻が決まり、66-35で終了。
 第4ピリオド福岡は#9#13#8#5#12に。北海道は#9#15#10#6#12で、オールコートマンツーマンディフェンスを仕掛ける。互いに激しくディフェンスを行う。北海道は#12のインターセプトで得点する。福岡は#8#15のピックプレイと#13#15のコンビネーションで得点する。点差が開いたが、北海道のあきらめないプレーが好印象な試合だった。

担当者: 黒川 文治郎((一社)福井県バスケットボール協会)

(公財)日本体育協会、(公財)日本バスケットボール協会、(一社)福井県バスケットボール協会

